

調停制度90周年記念行事として、



模擬調停・庁舎見学会等を開催しました。



概要

平成24年10月14日(日)

熊本家庭裁判所 第1会議室

(12:30~15:30)

参加人員 51名

内容：裁判所のあらし、調停制度の概要等の説明

模擬調停

(子どもの親権が問題になった夫婦の事例

~父母の離婚と子どもの気持ち)

庁舎見学(調停室、審判廷、法廷、科学調査室等)

意見交換会

意見交換会

意見交換会での質問内容(抜粋)

- ・調停において、調停委員の中立を保つためにどのような点に留意されているのか
- ・平成25年1月から家事事件手続法が施行されることにより、どのような点が変更されるのか。
- ・家事事件手続法の施行により、調停手続が訴訟手続に近いものとなっていくのか など

Q. 模擬家事調停を傍聴しての感想

- A. よく分かった(23人) 45%
分かった(27人) 53%
分かりにくかった(1人) 2%

Q. 裁判所職員の対応について

- A. 非常に良かった(37人) 73%
良かった(12人) 24%
普通(2人) 3%

Q. 庁舎見学をしての感想

A (一部)

- ・調停や裁判など話し合う内容によって、部屋の作りが異なっていて、たくさんの種類があり驚いた。
- ・声が外に漏れないように壁を厚くしたり、プライバシーが守られていると感じる点は何点もあり、当事者が安心して話せるような工夫がしてあるなど思った。
- ・庁舎内が意外にきれいで、やわらかい雰囲気だった。
- ・きれいで明るいので、不安を感じることなく十分に話し合いが出来そうだった。
- ・どの部屋もこぢんまりとしていて、親しみやすい部屋だなと思った。
- ・普段見られない部屋を見られて、とても興味深かった。
- ・職員の方の説明がわかりやすかった。
- ・まるで病院のようだった。
- ・きれいな建物であったが、少し入りづらい印象を受けた。
- ・子どもの遊ぶ場所が狭いなと感じた。お父さんと子どもが遊ぶとき等、のびのびと遊べる場を提供した方がよいのではないかと思った。

Q. 今回の見学会で一番印象に残ったことは何ですか。

A (一部)

- ・調停委員役の冷静かつ適切な対応
- ・調停という制度が、それほど堅いものではなかったということ。
- ・裁判所関係者の対応が大変良かったこと。
- ・とても丁寧な説明をしていただいたこと。
- ・「家庭裁判所は仲直りするところ」それが確認出来たこと。
- ・職員さんの演技がすごく上手で驚いている。
- ・調停室と法廷の違いから、法廷には裁判所の権威が感じられた。争いは、調停で終わりたいと思った。
- ・席が後ろで見えにくかった、誰が何の役なのか分からなかったこと。

Q. その他、熊本家庭裁判所に対する御意見があればお聞かせください。

A (一部)

- ・また、こういう機会を設けてもらいたい。
- ・年に1, 2回は開催を検討して欲しい。
- ・職員の方が大変親切にさせていただいて、家裁のイメージがとても身近なものになった。
- ・少年事件の模擬審判, 家裁調査官の実務見学, 遺産分割等についても、同じように行って欲しい。
- ・日曜日開催というのがよかった。
- ・どの職員の方が調査官か書記官かなどが予め分かっていたら、もっと質問しやすかった。
- ・意見交換会はたいへん有意義だった。

ギャラリー

